

「電子機能水農法」を世界へ！ 東京・広島事務所より発信

一般社団法人 地球環境改革再生機構 理事長 太田雄一

皆様 お元氣にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

新型コロナウイルスの問題はなかなか収まりませんね。この騒ぎの後にくる食糧問題の件についてマスコミ等は多くを語りませんが、大変なことが待ち受けているような気がしています。また、今年(二〇二〇年)日本は地震の年ともいわれていますし、これからやってくる集中豪雨等の災害も心配になります。私たちはこうした危機に日々備えていかななくてはなりません。

電子機能水は、新型コロナウイルスや鳥インフルエンザ、豚コレラ、口蹄疫、豚流行性下痢(PED)などに対し大きな防疫能力を有しています。また、農業生産量や畜産・水産を短時間で増加させることや、農薬や抗生物質、ホルモン剤にたよらない理想的な新しい農業、畜産、水産をつくりあげる力を有しています。海外では既に大きな実績を有し、現在国連の機関とも連携しながら拡大に努めています。遅まきながらやっと日本国内で注目されることとなりました。

これから起こるであろう多くの問題を解決する技術の一つとして、世界は本当にこの技術が必要だと思います。この連休明けには新しい社団法人「地球環境改革再生機構(GER)」が正式にスタートします。

東京だけでなく、あの原爆被害の地である広島にも事務所を開き(Hiroshima office)、この両方の起点から日本をはじめとする世界への発信を開始しようと考えています。

それに先立ち協会のホームページを新しく作成しましたので是非ご覧いただければと思います。日々更新して新しい情報を的確に提供できるようにしていきたいと考えています。また、従来の「MSインターナショナル(株)」、「MSテクニカ(株)」のホームページともリンクさせていきますので、正しい情報を皆様にお伝えできるものと信じております。今後ともお引き立ていただきようどうぞよろしくお願いいたします。

二〇二〇年四月二十四日
一般社団法人

「地球環境改革再生機構」
代表理事 太田 雄一



<https://global-er.net/>



★電子機能水

水と電解質を特殊な電解装置(PCT. 国際公開番号 W02005/105678 A1)に入れ、電気をかけると自然にはない特殊な水が生成されます。一極側には水素イオンと電子が多い水が生成され、+極側には電子が全くなく、酸素が多い水が生成されます。この水を局限まで濃くしたものが電子機能水です。一極側(アルカリ性水)をエコマイザー(ECOMIZER)+極側(酸性水)をバイオマイザー(Biomizer)と呼称しています。

★電子機能水農法

水の電気分解技術を用いた農法です。水の節約が可能で、生産量を20%以上増やすことができます。さらに、殺菌剤や殺虫剤等の農薬を95%以上減らすことができます。

★防疫

「電子機能水」は高い殺菌効果があります。また、耐性菌をつくらず、副作用がありません(水と同じ安全性)。さらに、殺菌終了後は普通の水に戻るので環境汚染がありません。